学校番号	３２４

令和８年度　ＧＥ科

教科	ＧＥ	科目	グローバル 日本史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説日本史』（山川出版社）						
副教材等	『新詳日本史』（浜島書店）、『新 日本史研究ノート』（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の歴史の展開を、地理的条件や他国の歴史と関連づけて、史料や資料に基づき総合的・客観的に考察する。その上で日本の伝統と文化の特色についての認識を深め、歴史的思考力を培い、国際社会でも主体的に生きることのできる人間としての自覚と資質を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本の歴史の基本事項について、史料や資料等も含めて通暁していること。
【思考力、判断力、表現力等】
現代の国際社会で活躍するために、日本史を正確に概説できるとともに、他国の歴史や異文化を理解し、国際協調を尊重する姿勢を身につけている。２００字程度の論述もこなせること。
【学びに向かう力、人間性等】
「世界の中の日本」を意識し、公正かつ客観的な視点で、歴史的事象を多面的に捉える柔軟な視点を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史についての基本的な事項を地理的条件や世界各地の歴史と関連付けながら理解し、その基礎知識を身に付けている。	現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、社会の変化を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に理解、表現することができる。 日本の歴史に関する諸資料（史料）から有用な情報を活用して探究し、自身の考えを２００字程度で論述したり、図表にまとめたりすることができる。	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に学習するとともに、地域社会や異国の歴史・文化を尊重し、国際社会に生きる人間として主体的に学習しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	幕藩体制の成立と展開	・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	a: 幕藩体制下の支配体制について基本的な知識を身に付ける。産業や経済の発展と安定期の幕府の諸政策の関係についても理解する。 b: 国際社会の動向や兵農分離策を踏まえて織豊政権から幕藩体制へのつながりを考察する。 文治政治への転換、町人の経済的繁栄を背景とした元禄文化について、社会の変化と関連させて考察する。 史資料から幕府の政策の内容や元禄文化の特色を読み取る。また、産業と経済の発達、それに対する幕府の政策の内容や意図を２００字程度で論述できる。 c: 江戸幕府の成立にいたるまでの社会・経済を、世界史的背景もふまえて多角的に学習している。 幕政の安定期について、諸産業の発展・平和と秩序の確立のという視点から学習している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	幕藩体制の動揺	・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化	a: 三大改革の内容、列強の接近に伴う対応や社会の変容の基本事項を理解している。 b: 幕府の衰退と雄藩の出現過程を国際情勢の変化やそれに対する幕政の対応も踏まえて考察する。短い論述もできる。 史料や絵画資料などから幕府や諸藩の諸政策の内容や庶民文化としての化政文化のなかに近代化への萌芽を読み取ることができる。 c: 幕藩体制の動揺とその対策としての諸改革および近代化の基盤形成について多角的に学習している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

	近世から近代へ	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足	a: 幕末期から明治維新における政治・社会・経済の発展に基本事項について、問題点も含めて客観的に理解してる。 b: 不平等条約について諸外国の動向と関連づけて考察する。 　史料などから幕府や新政府の諸政策の内容を読み取り、２００字程度の論述ができる。 c: 国際環境が変容する中での幕府や新政府の政策に着目して近代国家の基盤の形成過程を学習している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	近代国家の成立	・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	a: 近代国家における政治・社会・経済の発展や改革について、その問題点も含めて客観的に理解する。 b: 近代国家の成立と条約改正交渉の進展について諸外国の動向と関連づけて考察する。 　史料などから政府の諸政策の内容と意図、その社会的影響などを読み取り、短い論述ができる。 c: 新政府の制度改革や経済政策などに着目して近代国家の基盤について学習している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

後期	近代国家の展開	・日清、日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	a: 戦争に傾斜していく経過と戦争の性格について理解し、その基礎知識を身に付けている。 戦時中の日本と諸外国の関係を理解し、その基礎知識を身に付けている。 b: 日清・日露開戦に至る経緯について諸外国の動向と関連づけて考察し、短い論述ができる。 日本国内の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察している。 世界大戦が国内外の経済・社会に及ぼした影響について、政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用して考察している。 c: 戦争へいたる経過とその結果、諸外国との関係などに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	近代の産業と生活	・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	a: 近代産業の発展と明治・大正期の文化についての基本事項を理解し、２００字程度の論述ができる。 b: 国内の産業の発展や文化の発達について、世界の動静と関連付づけて考察している。 c:産業の発展と東アジアとの関係を深く理解している。大衆文化の形成について研究している。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

	恐慌と第二次世界大戦	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a:大戦の性格と、戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その基礎知識を身に付けている。 ｂ：日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現し、大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について、文献、映像、統計などの諸資料を活用して理解し、２００字程度の論述ができる。 ｃ： 大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	占領下の日本	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和	a: :戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察し、その集大成となる日本国憲法の制定の意義や、当時の国際関係についての知識を身に付け論述できる。 b: 連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 c: 占領下の政策や、日米安保条約などの内容を読み取り、この時期の日本の様子や国際関係を考察する。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート
	高度成長の時代	・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	a: 戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その基本知識を身に付けている。 b: 大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことについて考察し、適切に発表や論述ができる。 新聞や雑誌・漫画や様々な史料から戦前と戦後の変化を読み取ることができる。 ｃ： 戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさに関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

	激動する世界と日本	・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容	a:戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。 b:現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し、適切に表現できる。 c:経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ討議 ・ミニレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度